

# 歴史復元画と考古学

Art & Archaeology - Artist as Interpreter and Archeologist

イラスト：安芸 早穂子



2014

1 / 25  
(土)

13:30 ~ 17:30

1

吉田 泰幸 YOSHIDA Yasuyuki

(国際文化資源学研究センター)

縄文人はどのように描かれてきたのか

How have Jomon People been drawn ?

2

安芸 早穂子 AKI Sahoko

(歴史復元イメージ画家)

縄文人をどのように描いてきたのか

How have I drawn Jomon People ?

3

小山 修三 KOYAMA Shuzo

(国立民族学博物館 名誉教授)

なぜ「おしゃれ」な縄文人を描こうとしたのか

Why did we try to draw fashionable Jomon People ?

4

対話：これから縄文人をどう描くのか

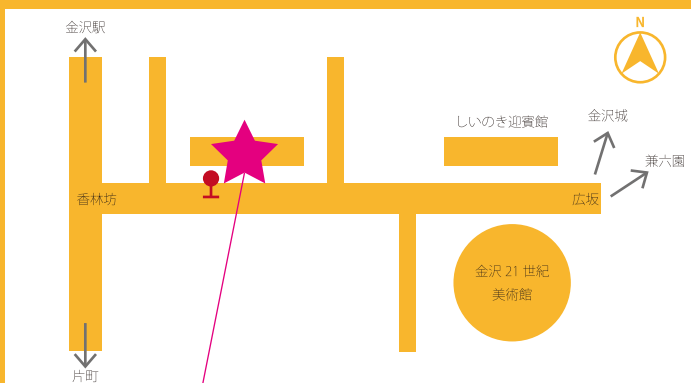
司会：ジョン・アートル John ERTL

(国際文化資源学研究センター)

歴史復元イメージ画家 × 考古学者 × 人類学者 × 参加者

Dialogue : How will we draw Jomon People in the future ?

Artist x Archaeologist x Anthropologist x Participants



大昔の縄文時代の人々、「縄文人」に対して、われわれはどのようなまなざしを向け、どのように描いてきたのでしょうか、また、これからどのように描くのでしょうか。多くの歴史復元画を手がけたイラストレーターと、考古学者／民族考古学者との対話の中で、研究成果をもとにした新たなイメージの探求だけでなく、アートと考古学のこれから、も考えます。

\*使用言語は日本語です。Official Language is Japanese.

場所：石川県四高記念文化交流館 多目的利用室 3  
金沢駅より：北鉄バス 香林坊中央公園前 下車すぐ

問い合わせ 吉田 泰幸

Tel : 076-264-5802 E-Mail : yoshi23@staff.kanazawa-u.ac.jp